

義務教育学校の設立に向けて⑥ 第三回（仮称）上石津学園検討プロジェクト会議を開催しました。

上石津まちづくり協議会

○三回目のプロジェクト会議を開催しました

（仮称）上石津学園検討プロジェクトでは、ワークショップで集めた意見をプロジェクト会議で共有しています。

令和三年十一月九日（火）に行われた第三回プロジェクト会議では、十月二十二日に実施した第二回のワークショップでの意見を確認しました。

大垣市まちづくり市民活動支援センターのファシリテーターが取りまとめた報告書を見ながら、プロジェクトリーダーに指名された代表者がグループ内の意見を総括し、ワークショップの様子を振り返りながら意見発表。どのグループも将来の学校の姿を思いながら子どもたちが安心して

学校生活を送ることができるよう、真剣に意見交換が行われたことが伝わってきました。各検討項目に対する意見は、第二回ワークショップ報告書として上石津まちづくり協議会のホームページに掲載します。

また会議では、本プロジェクトのアドバイザーとしてご協力いただいている前羽島市立桑原学園校長の小川先生に、義務教育学校についての講話をいただきました。

講話では、義務教育学校が地域のシンボルとしての役割を担い、地域の学校となっていくこと。特色ある学校を作っていくために、プロジェクト会議や地域が積極的に関わりながら、他の学校や大学な

どの組織とも連携を図っていくことが重要であるとの話を伺いました。プロジェクト会議を含め、地域住民が果たす役割の大きさをあらためて認

識することができました。

上石津まちづくり
協議会HP
QRコード



ワークショップにおける主な意見

①地域による学校への支援のあり方

- ・ふるさとの長老による歴史の語り部
- ・英語の堪能な方の授業
- ・自然の中で楽しみながら学習できるよう各分野の専門家を探す
- ・各小学校で行われている茶摘みや太鼓などをそのまま続けて欲しい
- ・長範みそ作り、伝統の刺し子
- ・天文台での天体学習
- ・ゴルフの体験
- ・企業を学ぶ、地域の産業を学ぶ

②校舎外の環境整備

- ・広い駐車場の確保
- ・バス停を学校敷地内に整備
- ・グラウンド近くにトイレを設置
- ・車が敷地内を一周できるような道路の整備
- ・セキュリティ対策、全体的な安全対策
- ・道が狭く暗いため、バス停から学校までの街路灯の整備
- ・スクールゾーンの設置
- ・環境保全ボランティアを募る

③通学路（スクールバス）について

- ・バス停に防犯カメラを設置
- ・登校（集合）場所は学校でも良い
- ・県道をまたがないように、旧道内を通る
- ・低学年の下校はなるべく巡回を
- ・集団下校はどうするのか
- ・子ども的人数により柔軟に対応を